

- 令和5年6月26日（月）9：30～11：45 千葉市役所1階 正庁
- 参加者 会場：約230人、WEB：約160人
- 挨拶 千葉県知事（ビデオメッセージ）、千葉市長、国土交通省 関東地方整備局長
- 基調講演 千葉大学大学院工学研究院 丸山教授「千葉県の地震を考えるーインフラ・ライフラインへの影響」
- パネルディスカッション 『災害に対する、「連携」「実践」「わがこと化」を学び・知る』

主催：関東地方整備局 千葉国道事務所
 共催：千葉県、千葉市
 協力：一般社団法人 千葉県建設業協会

■開催状況



受付状況 展示状況



会場の様子

■挨拶



千葉県熊谷知事(ビデオメッセージ)
 「災害から県民を守る防災県を確立するため
 災害に強いインフラ整備が何より必要。」



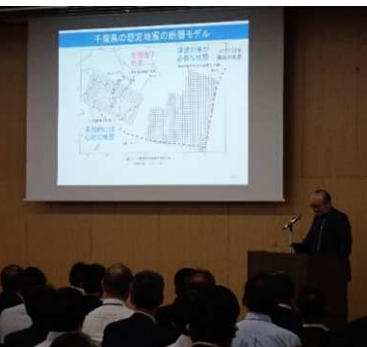
千葉市神谷市長
 「新庁舎を複合防災拠点として
 関係機関との連携を強化する。」



関東地方整備局 廣瀬局長
 『「連携」「実践」「わがこと化」をテーマに首都圏1都7県で各
 地域の特性を踏まえたリレーシンポジウムを開催していく。』

■基調講演

「千葉県の地震を考えるーインフラ・ライフラインへの影響」
 千葉大学大学院工学研究院 丸山喜久教授



講演の様子

- ・首都圏直下地震の切迫性
- ・兵庫県南部地震の犠牲者の特徴
- ・千葉県のインフラ・ライフラインの被害想定
- ・R1台風第15号による被害



- 高い冗長性を有する首都圏の道路網
- ・応急復旧体制の早期確立
 - ・災害時の広域応援

■パネルディスカッション

『災害に対する、「連携」「実践」「わがこと化」を
 学び・知る』

コーディネーター

- ◇千葉大学大学院工学研究院 丸山喜久教授
- ◇公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事 JILS総合研究所 所長 北條英氏
- ◇日本通運株式会社 千葉支店長 松原仁志氏 (千葉県倉庫協会 会長)
- ◇国土交通省 関東地方整備局 廣瀬昌由局長

主な意見

- ・正しい情報の共有、平時からの官民連携が重要
- ・三環状や北千葉道路の整備などリダンダンシーの強化が重要
- ・業務プロセスの標準化を進めることで災害時にも有効



パネルディスカッションの様子



丸山喜久教授

廣瀬昌由局長

北條英氏

松原仁志氏